

7月21日野球部は兵庫県大会4回戦を神戸学院大附属高校と戦いました。この日はバントも確実に決め、1回と3回に1点



ずつを取り、リードしました。連係ミスから1点を返され、嫌な展開になりましたが、8回に藤田選手のスリーランホームランが飛び出し、そのまま逃げきり5回戦にコマを進めました。

ここでベスト16に入り、改めての抽選の結果23日の対戦が市川高校に決まりました。ここまで順調な仕上がりを見せ、少しずつ課題も克服されてきましたので今後が楽しみです。この4連休中にはベスト4までが決まります。保護者の方々も熱い中大変ですが、連日の応援に駆けつけてくださり、選手たちもその思いに応える活躍をしてくれています。



22日は陸上県新人大会東播地区予選会が行われました。2年110mJHでは、足のケガから復調した西田選手が快走(左)。2年100mでは、藤原選手が向かい風

の中、多田選手並みの加速で他を圧倒(中)。1年走幅跳では、藤本選手が好記録で優勝(右)。8月に行われる県ユースに向け、良いスタートを切りました。県大会までに課題を克服して総合5連覇に向け頑張ってください。23日にも2日目が行われ、1年走高跳では小島選手が1m95の好記録で優勝したそうです。

そして23日に野球部は市川高校との5回戦に臨みました。この試合は2年芝本投手が先発。本校は相手の



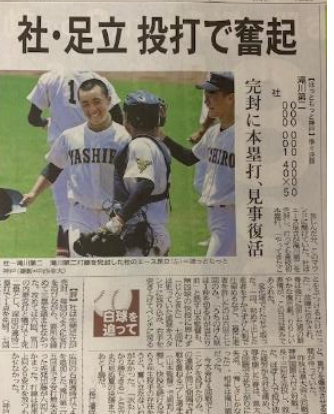
の連係ミスから得たチャンスでタイムリーが出て2点を先取。良い流れでしたが、本校の連係ミスを突かれ1点差になったものの、中盤に小刻みに加点。藤田選

手の2試合連続のホームランも飛び出し、投げては芝本投手が8回を1失点に抑える好投を見せ、最終的には5-1で快勝。ベスト8に入りました。次は25日に春季県大会で負けた滝川第二高校と対戦です。本校として



は雪辱戦にもなります。場所もほっともつスタジアム神戸で、内野が芝生です。勝ち続けるにつけて観客も多くなり客席の熱気が感じられるようになってきました。この日は、満を持し

て3年足立投手が先発。春季県大会では初回死球からうまく投げられず悔しい思いをしただけに、かなり気持ちも入っていたようです。毎回ヒットを打たれながらも要所を締め、三塁を踏ませないピッチング。6回の攻撃で連打が出てようやく1点を先取すると足立選手のギアも上がり、7回の攻撃ではランナー二塁の後、宮川選手が申告敬遠で歩き、ランナー二塁のチャンス。ここで足立投手が打席に入り、なんとレフトスタンドへスリーランホームラン。観客席も大いに沸きました。その後も交代した相手ピッチャーから廣田選手がタイムリーを放ち、5-0と突き放し、足立投手は8回9回も抑え、見事な完封勝利。春季県大会の雪辱を果たしました。ベスト4に入り、いよいよ甲子園まであと二つとなりました。次戦は明石トーカロ球場で関西学院高等部です。また、野



球部の試合の翌日には神戸新聞が写真入りで大きく本校の活躍を伝えてくれています。22日には、ホームランを打った藤田選手が、24日には好投した芝本投手が、26日には投打で活躍した足立投手が掲載されました。日替わりで違う選手を取り上げていただいていることに感謝します。こういった記事によって選手たちは元気もらいます。そして、彼らの活躍を支えてくれている監督、部長、コーチ、保護者の方々、一番身近で彼らを支えている野球部員全員がいるからこそこのように勝ち上がってこれているのだと思います。また、選手の活躍は多くの人を元気にします。多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、最後まで諦めない姿勢で粘り強く戦ってください。

この4連休中に、男女バスケットボール部はウインターカップ東播地区予選に出場、女子がベスト4、男子がベスト8(5位)に入り、県大会出場を決めました。おめでとうございます。夏はまだ始まったばかり、これからも熱い戦いをお願いします。

そして、オリンピックも本格的に始まり、兵庫県出身の阿部兄妹が同日金メダルを獲得しました。おめでとうございます。あれだけ注目を集め、相手選手からは研究もされている中で、最後まで集中力を切らさず、戦う姿勢を見せてくれた結果に多くの方は勇気と元気をもらったと思います。新型コロナ感染拡大も現在進行形の中、選手以上に関係者は大変だと思います。私たちは遠くから応援することしかできませんが、自らの感染防止を徹底し、選手を応援しましょう。